

2009 年 5 月 8 日

高野之夫区長様

公明党豊島区議団 幹事長 此島澄子
副幹事長 島村高彦

新型インフルエンザ対策に関する緊急要請

メキシコ発の新型インフルエンザは勢いを増し、世界保健機構 WHO によると、感染者は世界各地に広がり、2,400 人を突破している。また恐れていた 2 次感染も目立ち始め、パンデミック警戒レベルは、フェーズ 6 までの引き上げも検討されているとの報道もあります。今のところ、国内には感染者は出ていないものの、この大型連休を海外で過ごした方々の帰国とともに、国内侵入の可能性も高まり、乗降客数 264 万人の行きかう池袋駅を抱えた本区としては、予断を許さない状況にある。また、新型インフルエンザではない患者が、診療を拒否されるなど、医療機関の対応にも混乱が生じている状況である。すでに対策本部を立ち上げ、総合的な対策を講じるよう努力しているところであるが、万一の事態に万全を期すため、以下の点について要請する。

記

- 1、 区民が正しく行動出来るよう、適切な情報提供に努め、相談窓口の整備については、十分な配慮を行うこと。
- 2、 東京都と連携し、地元医療機関をはじめ、保健部局、危機管理担当部局など、現場に混乱が生じないよう保健医療体制や対策を講じること。
- 3、 幼稚園、保育園、小中学校、社会福祉施設などにおける健康チェックのための体制づくりについて早急に徹底すること。
- 4、 新型インフルエンザに対応するワクチンの早期製造に全力を挙げるとともに、国内感染者の発生に備えた防御体制の整備を国・都に要請すること。

以上